

革のまちすみだ会 全体会議議事録

kawa-no-machi
SUMIDA

日 時：平成24年4月13日（金）15時～17時30分

場 所：すみだ中小企業センター会議室3（5階）

●開会 15:00

●第一部 SUMIDA LEATHER PARTY 公開反省会 ～16:00

- ・ 売場のレイアウトの決定に関して→陳列位置により売り上げの差があるかも。早く決定すれば搬入出がスムーズに行えたかも。場所がほしい。
- ・ 池袋店の立地について→弱いかも。
- ・ もの処店員の対応の問題。鼻から売れないものという感じをお客様より注意された。
- ・ 商品単価→幅があるものの対応。安いと売れる。高いと売れない。
- ・ 時期・季節・シーズンものを意識した商品が売れたかも。名刺入れ、財布、キーホルダーの問い合わせが多かった。
- ・ スタッフと売場の対応。
- ・ ハンズ→道具を買っていく。結構大量に。
- ・ ピッグスキンの安いという先入観に挑戦、向き合ったよい機会であった。
- ・ ピッグスキンを知ってもらい良いきっかけ。教室の評判良し。
- ・ 他の階で販売させてもらえたら売れる商品もあったかも。ex、雑貨コーナー。
- ・ 告知をもっとできたのでは。店内放送とか→前もって告知。
- ・ ターゲットを絞って新商品開発をしないと売り上げを上げるのは、難しいかも。
- ・ 準備不足は否めない。
- ・ 接客すると売り上げが上がる→生産者とのコミュニケーションがあると値段は関係なく売れやすい。
- ・ イベントのための商品があると良い。
- ・ 平日と休日の売り上げの差が大きい。
- ・ チラシに掲載するなら一ヶ月以上前に内容を決定要す。
- ・ 参加する側での情報共有したほうが良い。
- ・ 次回以降も東急ハンズ池袋店とのコラボを確認した。
- ・ 役割分担、チーム化が弱かった。

出席者(敬称略):小坂橋・江尻・南口・日原・高橋(華)・東條・大崎・山口・ブレインズリンク・根本・ティグレ・中尾商事・グレイス
ジャパン・MIJP後藤・柴田・菱沼・印南・林・堀井・墨田革漉・中野・岩田・成田

●第二部 全体会議 ～17:30 ※休憩・質疑応答含む

議題：「革のまちすみだ会というフィールド活用について」

- ・ NPO・MIJPからの他産地の報告。美濃焼、備前焼の現状。地元の人に知ってもらうことの重要性。
- ・ ブランディング、マーケティング、イベント開催の勉強が必要。告知方法や商品構成の勉強も必要。→NPO・MIJPより(協力できないか前提に)提案してもらう。
- ・ 職人の減少が問題。墨田にOEM生産拠点がほしい。廃校活用など可能ではないか。
- ・ 行政に訴えてもなかなか取り合ってもらえない。民間が主導で計画を進めなければならない。→当会産地部会または革
育部会で考えるか。やる気のある人の意欲次第で計画スタートする。
- ・ TASKプロジェクト、GTSプロジェクト、ものづくりコラボレーションなど、区の施策に沿って考えることも必要。区内だけで
なく、区外からも主旨に同意の参加を認めるべき。→次回会則再考。
- ・ まち処出展に関しては、早急に開催内容の提出書類があるためイベント具体案を募る。
- ・ レザーパーティー参加者は、協力し合う必要あり。次回からはイベント開催方法など学んだ上で参加すべき。

出席者(敬称略):小坂橋・江尻・南口・日原・東條・大崎・山口・ブレインズリンク・ティグレ・中尾商事・グレイスジャパン・MIJP後
藤・柴田・印南・堀井・墨田革漉・coneru・中野・岩田・成田

議事録作成：東條・山口 確認署名：

大崎達也